

西国街道にデザインマンホールふたを設置します

1 概要

本市では、良好な都市景観の形成や下水道のイメージアップ、PRを目的として、マツダスタジアム周辺地区や広島駅周辺地区、広島城周辺地区などの6地区において、それぞれの地区に合ったデザインを制作し、ふたの老朽化に合わせて順次、設置しているところです。(別紙1)

このうち、西国街道をテーマにしたデザインマンホールふた(別紙2)については、平成31年度に、広島駅と紙屋町・八丁堀をつなぐ西国街道に設置していますが、令和4年度から、安芸区内を通過する西国街道に、順次、設置します。

2 設置場所について

安芸区内を通過する西国街道沿いの石碑・案内板、駅、神社・仏閣などの西国街道にゆかりのある場所に設置します。

なお、安芸区内を追加する西国街道は、船越地区から瀬野地区に至り、途中、海田町を通過することから、デザインマンホールふたの連続性と近隣町と連携した取組として、海田町内にも当該ふたを設置します。

設置する地区、場所などは以下のとおりです。

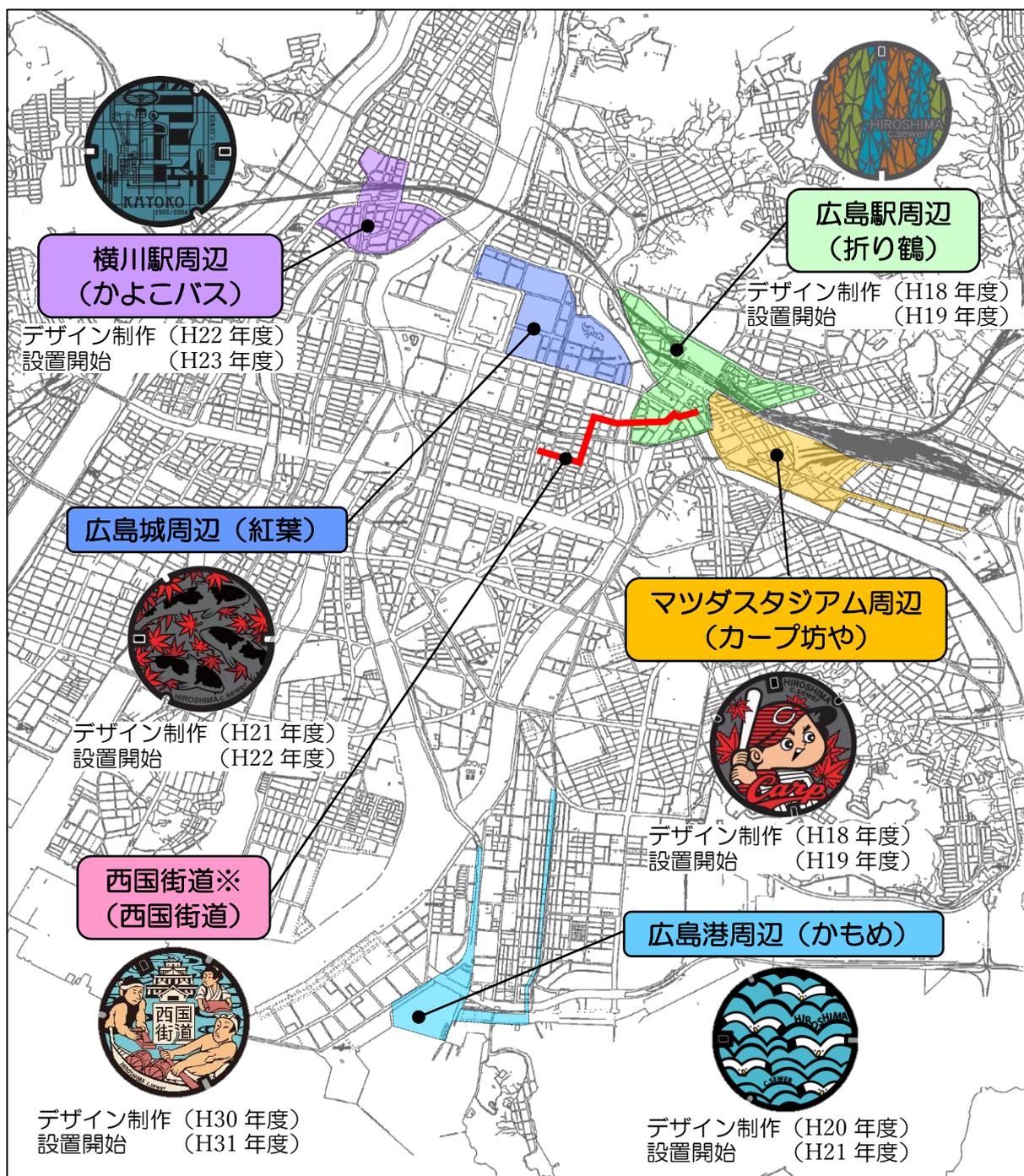
地区	主な設置場所	設置数
船越地区	船越峠、常夜灯、ちびっこ広場前、光明寺など	30箇所
中野地区	出迎えの松、安芸中野駅、専念寺、中野東駅など	23箇所
瀬野地区	落合一里塚跡	1箇所
[参考]海田町	一里塚跡、三宅家住宅、旧千葉家住宅など	6箇所

3 設置スケジュール

設置スケジュールは、以下のとおり3カ年で設置するよう計画しています。

地区	令和4年度	令和5年度	令和6年度
船越地区			
中野地区			
瀬野地区			
[参考]海田町			

広島市のデザインマンホールふたの設置地区（6地区）



※西国街道については、車道・歩道の区分無く「カラーふた」を設置。
 西国街道以外のふたは、車道に「無着色ふた」、歩道に「カラーふた」を設置。

西国街道デザインマンホールふた（カラー）のデザイン
[汚水マンホールふた]



【デザインについて】

デザインは、広島市立大学芸術学部に依頼し、制作した。

【デザインのコンセプト】

広島が川のまちとして発展し、かつて江戸時代の城下町の目抜き通りであった西国街道のなりわいを浮世絵風にしたデザイン。

広島で働く職人のモデルとして、「紙商人（右上）」、「仏壇作り（左上）」、「舟運（下）」を用い、人物を大きく配置することで、活気あふれるワンシーンを表現している。